

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 633 号	氏名	浦松 正
学位審査委員	主査 福岡 順也 副査 大園 恵幸 副査 酒井 英樹		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、腎硬化症におけるマクロファージのアポトーシスに AIM（マクロファージのアポトーシス抑制蛋白）が関与するか、また降圧剤が AIM を介してマクロファージのアポトーシスに影響を与える機序を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 モデル動物および降圧剤（ヒドララジン、オルメサルタン、アゼルニジピン）の選定は妥当である。マクロファージ量の検討、AIM の評価、アポトーシスの評価に使われた免疫組織化学的技法や TUNEL 法も妥当である。AIM の作用機序を説明する酸化 LDL の評価や、マクロファージの遊走能に影響を与える MCP1 の評価なども妥当な根拠に基づき選定されている。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で検討した結果につき、おこなわれた統計学的評価も妥当である。降圧剤の中で、特にオルメサルタンとアゼルニジピンでは、抗酸化作用を介した AIM および MCP1 の発現抑制によってマクロファージ減少効果を獲得し、腎硬化症の進行を抑える機序を解明した。今後の慢性腎疾患への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は慢性腎疾患研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			